

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 「消防団デジタル化事業」

自治体名

日野町

消防団名

日野町消防団

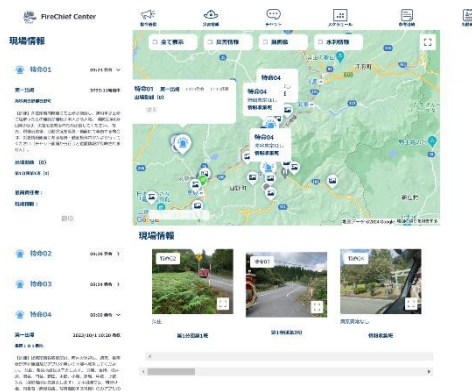
1 事業の目的

消防団活動支援システムを導入し、消防団活動および消防団業務のデジタル化を図り、消防団の活動基盤の強化、そして地域防災力の向上につなげる。

2 事業内容

- (1) 消防団アプリ（消防団活動支援システム）の導入
消防団体制の維持・向上を目的に、消防団活動支援システムを導入。セキュリティの担保された専用アプリを消防団員および町職員のスマートフォン等に導入した。
- (2) 研修等の実施
システム導入および運用にあたり、随時、団員および職員を対象に研修および訓練を実施した。
- (3) スマート会議（打合せ等）の実施
システムを活用し、ペーパーレスによる情報共有や打合せ等を実施。電子化された資料を用いたことで資源の削減に加え、担当者の負担軽減が図られ、消防団業務のスマート化が実現した。

(写真右) アプリを用いた災害応急対応訓練 / (同下)アプリ運用研修



3 事業成果

- (1) 消防団活動の「見える化」による連携強化
 - システム導入により、災害現場等での消防団員の招集・活動状況等の把握が可能となり、現場本部と町災害対策本部との連携強化が図られた。
 - 防火水槽、消火栓等の消防水利についても、システム内に位置情報を付与（水利台帳のデジタル化）することで、水利部署の確保による迅速な消火活動、出動隊の情報共有が可能となった。
※町内の消防水利…防火水槽36カ所、消火栓292カ所
自然水利239カ所
 - (2) 日常業務のデジタル化・スマート化
 - 団員への諸連絡や依頼事項等をアプリに一元化することで、担当者の負担軽減につながった。
※幹部会の通知、会議録送付、その他事務連絡…23回
- ⇒これらの取組を推進することで、団員の高齢化やなり手不足等による若手団員の技術・経験不足を補うことができ、消防団体制の強化、次世代の活動基盤を構築する契機となった。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
アプリ登録者数	人数	63人	51人	
研修の実施	回数	1回	1回	
スマート会議（打合せ等）の実施	回数	3回	23回	

5 その他参考情報

日野町ホームページ

<https://www.town.hino.tottori.jp/>